

音更町・帯広大谷短期大学 ふるさと介護福祉士育成支援事業の創設 概要図

2015(平成27)年3月20日

○目的：音更町及び本学による地域の福祉向上を図るために、学校法人帯広大谷学園帯広大谷短期大学の社会福祉科介護福祉専攻へ進学する学生の人材養成、学修及び経済的支援等を行うことを目的として、「音更町・帯広大谷短期大学ふるさと介護福祉士育成支援事業」を実施する。

○支援の内容： 地域を支える人材として育っていく学校法人 帯広大谷学園
帯広大谷短期大学の社会福祉科介護福祉専攻学生の人材養成及び学生支援として、就学サポート対策及び人材養成 サポート対策の実施を行う。

学校法人 帯広大谷学園 帯広大谷短期大学 OOJC
介護福祉士 養成施設 人材養成・人材供給・社会的貢献
・教員・学生・教育・実習指導・学外実習等

音更町

「ふるさと寄附金」
を財源とする交付金

連携支援

・翌年度の事業計
画書の提出

・当該年度の収支
決算書の提出

交付金による支援

小・中学校
高校生、高等学校
保 護 者
介護福祉施設等

連携支援

○音更町・帯広大谷短期大学
ふるさと介護福祉士育成支援事業
【ふるさと介護福祉奨学生への支援】

・音更町からの「ふるさと寄附金」
を財源とする交付金
・帯広大谷短期大学からの経費

介護福祉専攻
学生への支援

社会福祉科
介護福祉専攻 学生

○就学サポート対策事業

財源状況を勘案のうえ、下記のサポート事業の中から、選択のうえ実施。

(1) 学費支援サポート事業

社会福祉科介護福祉専攻学生に対して、学費（入学金・授業料・教育充実費等）の一部の免除（減免）。

(2) 教科書等購入サポート事業

介護福祉専攻学生が、使用（購入）する教科書等購入費を全額補助。

(3) 実習費用サポート事業

介護福祉専攻学生が、実習に必要な実習着等購入費を一部補助。

(4) 学外施設等実地研修事業

・学生の学外施設等実地研修旅費を補助。

・介護福祉専攻教員等が、在学生の学外施設見学等の引率時の学外施設等実地研修旅費を補助 【帯広大谷短期大学としての事業】

○学位：社会福祉科 短期大学士
(社会福祉学)

○資格： 介護福祉士登録資格
社会福祉主任任用資格

○人材養成サポート対策事業 【帯広大谷短期大学としての事業】

財源状況を勘案のうえ、下記の対策事業の中から、選択のうえ実施。

(1) 小・中学校対象事業

音更町内の小・中学校へ本学の介護福祉専攻の教員・学生が訪問し、介護福祉について理解を深める介護体験・交流学習サポート等への補助（教材、交通費、印刷費等）。

(2) 介護志望高校生対象事業

介護福祉士学校（本学等）への進学をすることなく介護職への就業を希望する高校生に対し、本学教員が、介護福祉士資格を取得するメリットやキャリアアップについて、説明するといった様々な交流を図ることで、本学社会福祉科介護福祉専攻への進学を促し、人材養成のための交流支援への補助（会場費、交通費、広報用印刷費等）。

社会福祉法人等
社会福祉協議会等

介護福祉関係学生
への支援

社会福祉法人等
施設・団体等への就職

2年間で



音更町からの「ふるさと寄附金」による交付金と
帯広大谷短期大学の経費による経済的修学支援

帯広大谷短期大学 社会福祉科 介護福祉専攻へ進学して 最大548,500円の支援！

2年間の学費に関する総合計は下記の通りになります

	学費区分	減免額	納付額
1年次	入学金	20,000	180,000
	授業料等	156,000	869,000
	計	176,000	1,049,000
2年次	授業料等	166,500	858,500
	計	166,500	858,500
総合計		342,500	1,907,500

自己負担
だった

テキスト代購入費として最大 **88,000円** まで
※2年間の購入費が88,000円を超える場合は自己負担となります。
実習着等購入費として **28,000円** まで
の支援がなされます。

新たな
取り組み

学外施設等実地研修旅費として **90,000円** まで
の支援もなされます。

採用の流れ

- 帯広大谷短大に提出
・ふるさと介護福祉奨学生申請書
・ふるさと介護福祉奨学生誓約書



採用

申請条件

- ・帯広大谷短大へ出願
- ・2年間の修学
- ・十勝管内の高齢者施設等への就職

※申請条件が満たされなかった場合は、それまでの補助額を返還する義務が発生します。

帯広大谷短期大学

地域教養学科
生活科学科 栄養士課程
社会福祉科 子ども福祉専攻／介護福祉専攻

Tel: 080-0335 河東郡音更町希望が丘3番地3

TEL: 0155-42-4444 FAX: 0155-42-4499 URL: <http://oojc.ac.jp> E-mail: inform@oojc.ac.jp

帯広大谷短期大学の*Kaigo*

2015（平成 27）年 3 月 13 日（金）、帯広大谷短期大学では卒業式を迎えることができました。これまでに社会福祉科介護福祉専攻を卒業した 1,211 名の卒業生は全員が介護福祉士資格を取得しており、十勝のみならず全道、全国で活躍しております。また、実習指導など様々な面で後輩を支えてくれています。

社会が求める介護福祉士を育てる帯広大谷短期大学の 5 つの特徴をご紹介します。

POINT 1 介護福祉専攻で取得できる資格

1)社会福祉主任用資格

社会福祉主任用資格は、相談員・指導員等の業務に従事するための基礎資格です。本学は北海道で 3 か所しかない 2 年制の社会福祉主任用資格が得られる学校です。

2)福祉住環境コーディネーター

高齢者や障がい者が自立して生活するための住みやすい住環境を提案するアドバイザーで、在学中に 2 級の合格を目指します。当該分野の専門家により、手厚い受験支援を行っています。

POINT2 特色あるカリキュラム

1)本学独自の特色科目

介護福祉領域のみではなく、社会福祉を広く学び、進学や社会福祉士・介護支援専門員（ケアマネージャー）の資格取得等、将来を見据えたカリキュラム構成です。さらに介護予防活動などの地域連携のための科目や生活環境論など生活を支えるための科目を配置しています。

2)介護研究方法(ゼミ)

文献学習やフィールドワークを通して自分の関心あるテーマに取り組みます。卒業研究を通して研究的態度が身につきます。

3)語学(英語・中国語・フランス語・ドイツ語・韓国語)

さまざまな語学の中から興味関心のある科目を選択できます。異文化への理解とコミュニケーション方法を学ぶことができます。

POINT3 実習のサポート体制

1)少人数制の実習指導

少人数制で学生一人ひとりの習熟度に合わせた実習前・後の指導を実施しています。実習担当教員のサポートにより、安心して実習に臨むことができます。

2)多様な実習施設を確保

十勝管内を中心に道内の 100 以上の施設・事業所で実施しています。様々な施設種別の中から実習先を選択でき、介護福祉士の働く場を広く学び、利用者の多様なニーズを理解することができます。実習の経験が介護職への適正や卒業後の進路選択へ活かされています。

3)実習施設との連携

平成元年から介護福祉士の養成をスタートさせ、卒業生は約 1200 名。実習では多くの卒業生が実習指導者として後輩の学びをサポートしてくれています。また、実習指導者研修会を開催し、実習指導者と教員が共に学び、情報交換を行うことで連携を強化しています。実習報告会には多くの実習指導者が参加し、学生の学びと一緒に総括することで一人ひとりの介護観が明確になります。

POINT4 豊富なキャリア情報

近年、施設数の増加に伴い、求人は増加傾向にあります。また、正規職員としての採用増加など、給与、待遇面が向上しています。本学には全国から多くの求人が届き、就職ガイダンスにより学生のキャリア形成をサポートしています。

POINT5 リカレント教育の充実

十勝管内の施設職員や卒業生を対象とした研修会の開催を行っています。資格取得やスキルアップのための学習支援に加え、縦のつながりによる情報交換会を行い、学年を越えた卒業生のつながりを持つことができています。なお、平成 26 年度は認知症ケア専門士の資格取得のための講座を開講予定し、160 名が受講しました。